

開館記念対談

夫婦作家が語る! 小説家の人生

日時 2月1日(日) 14:30~16:00

場所 福井県立図書館 多目的ホール

要申込
定員
200名

福井県出身で、それぞれ夫婦で作家として活躍されてきたお二人に、福井での思い出、また創作の楽しみや苦勞、これまでの作家人生について語っていただきます。



津村 節子氏

1928年、福井市生まれ。
小学校4年修了で東京へ転居。学習院短期大学部国文科在学中、大学の文芸部で吉村昭と出会い、卒業後結婚。1965年「玩具」で芥川賞を受賞。『遅咲きの梅』『絹扇』など福井のひたむきな女性を描いた作品がある。近作「異郷」で川端康成文学賞、また「紅梅」で菊池寛賞を受賞。



藤田 宜永氏

1950年、福井市生まれ。
高校生で上京し早稲田大学中退後、フランスにわたりエールフランスに勤務しながらフランスミステリーの翻訳などを手掛ける。帰国後、エッセイなどの執筆を始め、1986年、「野望のラビリンス」でデビュー。2001年に「愛の領分」で直木賞を受賞。ミステリーや恋愛小説などを多く著し、近作に「女系の総督」「喝采」などがある。

©森清

開館記念特別展

津村節子と吉村昭 果てなき旅 ~夫婦作家の軌跡~

期間 2月1日(日)~4月5日(日)

福井県出身の作家津村節子と夫である吉村昭を取り上げ、さい果ての旅より始まった夫婦生活や果てなき創作への追求の軌跡を辿り、その中で生まれた夫婦の葛藤や絆について紹介します。



語りと独演

坂本長利『越前竹人形』

日時 2月8日(日) 14:00~15:30

場所 福井県立図書館 多目的ホール

昭和38年に発表された『越前竹人形』は、竹人形師・喜助と元娼妓の美しい妻・玉枝の純愛と官能の交錯する物語。坂本長利の独り語りのために水上勉が書き改め、昭和57年に初演された作品。水上文学に挑む坂本長利の至芸をご覧ください。



坂本長利氏(俳優)

1929年島根県出雲市生まれの85歳。1951年「ぶどうの会」に入団。1953年、木下順二作「風浪」で初舞台を踏み、1964年「ぶどうの会」解散後の翌年、演劇集団「変身」を結成。1971年、「変身」解散後は映画・テレビなどにも多数出演。代表作の独演劇「土佐源氏」(宮本常一聞き書きによる)は、1967年の初演以来、上映回数は1160回を超え、出前芝居と称して日本各地をはじめ、海外公演も多数行う。2013年、坪川拓史監督・映画「ハーメルン」(共演は西島秀俊、倍賞千恵子ほか)に主演。

イベント

文学に関するイベントを予定しています。ぜひご参加ください!

イベント名	日時	場所	内容
シリーズ作家を語る	2月14日(土) 13:30~	県立図書館	講師:坂本満津夫氏
高校生ビブリオバトル	2月21日(土) 9:20~	県立図書館	
文学講座	3月7日(土) 15:00~	県立図書館	講師:越野格氏
ふくい風花随筆文学賞授賞式	3月15日(日) 13:00~	県立図書館	講演会 講師:山口昭男氏(前岩波書店 社長)
映画上映会	3月	県立図書館	「桜田門外ノ恋」吉村昭原作、大沢たかお主演
文学サロン	3月	県立図書館	講師:谷崎由依氏

*開催日時が未定の行事は決まり次第、また、開催日時が変更になった場合はHPでお知らせします。

福井県 ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町 51-11

TEL.0776-33-8866 (福井県立図書館内) ※観覧料無料

開館時間等の詳細は、福井県教育庁生涯学習・文化財課HP、又は、福井県ふるさと文学館HPをご覧ください。

アクセス

- ・**フレンドリーバス(無料)**:JR福井駅前市内バス5番のりばから約30分
- ・**路線バス**:JR福井駅前市内バス9番のりばから市内バス(62系統 浄教寺行き)約12分
- ・**自動車**:北陸自動車道福井インターより約15分 国道8号線板垣交差点を東に折れ約900m

